

大阪検定

出題作品

- ◎「泥の河」
(1978年、筑摩書房) ※「螢川」に収録
- ◎「春の夢」
(1984年、文藝春秋)
- ◎「道頓堀川」
(1981年、筑摩書房)
- ◎「流転の海」
(1984年、福武書店)
- ◎「星々の悲しみ」
(1981年、文藝春秋)
- ◎「星宿海への道」
(2002年、幻冬舎)
- ◎「青が散る」
(1982年、文藝春秋)
- ◎「骸骨ビルの庭」
(2009年、講談社)

宮本輝の大阪検定I 受験方法

- ① 入口で答案用紙を取って、受験会場へ着席。
- ② 問題は四択。まずは自力で解答してみよう。
- ③ 分からない問題は、館内に展示されているパネルや原作本をヒントにしよう。
- ④ 全問終わったら、図書館カウンターで解答を見せてもらおう。
- ⑤ 解答と照らし合わせて自分で答え合わせ。さああなたは何問正解!?

来場者には
受験票シールを
プレゼント!



追手門学院大学の第1期生であり芥川賞作家でもある宮本輝氏は、大阪を舞台として展開される小説を数多く発表しています。「泥の河」や「道頓堀川」はよく知られていますが、本学における学生生活を描いた「青が散る」も忘れることができないでしょう。こうした小説の中に身近な土地を発見することも、宮本文学を楽しむ方法の一つです。

今回、企画展「宮本輝の大阪検定I」は小説に登場する大阪をクイズ形式で紹介することによって、宮本輝氏が描き出す多様な大阪の魅力を再発見していただきます。この企画展は、宮本輝ミュージアムと「なにわなんでも大阪検定」のコラボレーションによって実現しました。また、宮本輝ミュージアムと「地域文化創造演習」を履修する学生たちが、企画会議を重ねることによって内容を検討してきました。どちらも宮本文学の魅力を広く知らせる試みとして、大きく発展させていきたいと考えています。多数のご来場をお待ちしております。

(宮本輝ミュージアムプログラムディレクター・橋本裕之)

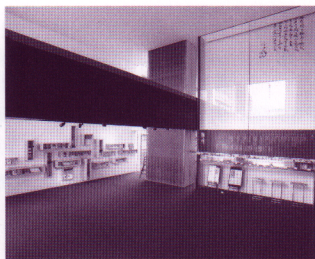
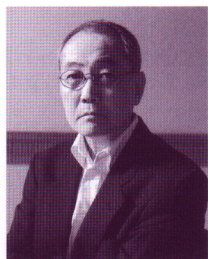
「なにわなんでも®大阪検定」とは?

“なにわなんでも大阪検定”は、大阪が持つ歴史・文化の奥深さを再発見し、多様な大阪の魅力を知っていただくことを目的とした試験です。大阪商工会議所は、“なにわなんでも大阪検定”を通じて、大阪を知り愛する運動を推進し、大阪の都市ブランドの向上を目指します。
(“なにわなんでも大阪検定” ホームページより抜粋)



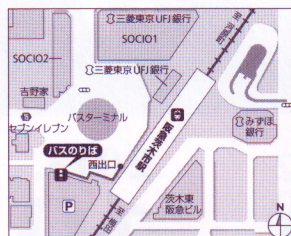
宮本輝ミュージアムについて

宮本輝ミュージアムは、追手門学院大学第1期生で現在も活躍する作家・宮本輝氏とその作品を紹介する場として、2005年5月追手門学院大学附属図書館内に開設しました。宮本輝氏の直筆原稿や、愛用品などを常設展示しているほか、作品をより深く感じていただけるよう、舞台背景の紹介や作品の魅力を伝える展示物などさまざまな角度から掘り下げた企画展を年2回開催しています。



スクールバス利用

- 阪急茨木市駅西口から発車



※スクールバスはどなたでもご利用いただけます。時刻表につきましてはHPでご確認ください。

阪急バス利用

- JR茨木駅イオン茨木ショッピングセンター(旧・マイカル茨木)横から発車



「JR茨木」から
「追手門学院前」下車
(JR茨木駅前3番
バス乗場 82・88系統)

宮本輝ミュージアム (追手門学院大学附属図書館 内)

〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 [開館時間] 図書館開館時間に準ずる。
TEL: 072-641-9639 FAX: 072-643-9786 ※詳しくはHPでご確認ください。

URL: (附属図書館) <http://www.oullib.otemon.ac.jp/>

(宮本輝ミュージアム) <http://www.oullib.otemon.ac.jp/teru/index.html>



追手門学院大学

URL: <http://www.otemon.ac.jp/>